

広報いしかわ

Ishikawa Prefecture



北陸放送
【ほっと石川】
1月13日(土) PM5:15~5:30
「能登ふるさと博」

石川テレビ
【ウィークリーいしかわ】
12月31日(日) PM5:40~5:45

テレビ金沢
【ぶんぶんセブン】
1月14日(日) AM7:00~7:30
「能登ふるさと博」

北陸朝日
【石川ほっとニュース】
毎週土曜 PM5:55~6:00



北陸放送
【県からのおしらせ】
毎週火・金曜 PM2:30頃(3分間)

エフエム石川
【素敵にモーニング】
毎週日曜 AM9:55~10:00



毎週金曜日、お得で役に立つ情報を配信!!
登録はこちらから

https://ishikawa-mmag.com



ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/> Eメール e130500b@pref.ishikawa.lg.jp 行政相談 ☎076(225)1100 ※広報いしかわ内の料金は全て税込み表示です。

県政この1年

～「布石」の年～

安全・安心とやすらぎを感じる地域づくり

〈新県立中央病院の完成〉

新しい県立中央病院が完成し、H30年1月9日から外来診療を開始します。新病院は、全国で初めて、母子の健康を守る総合母子医療センターを手術室や小児病棟と同一フロアに配置。また、プライバシーに配慮された環境で検査や診察を受けられる女性専用外来エリアを設置したほか、全ベッドに光がそそぐ個室の4床室を整備するなど、快適な療養環境や高度専門医療を提供し、県民の安全・安心を支えます。



〈防災対策の充実強化〉

登山届の提出を義務化する条例を制定し、白山の火山防災対策を強化。また、弾道ミサイルを想定した住民避難訓練を実施しました。防災士の育成は、H28目標数の総数4,000人(うち女性1,000人)を達成しました。



〈安全・安心と豊かな環境づくり〉

医師の確保を図るため金沢大学医学類特別枠で養成してきた医師が、能登北部地域等の病院で診療に従事。また、性暴力被害にあわれた方を支援するための相談窓口「パープルサポートいしかわ」を開設しました。



〈未来を拓く心豊かな人づくり〉

教員の人材確保から育成まで一貫して取り組む研修体制の強化を目指し、教員総合研修センターを開所しました。

石川の文化など個性にさらに磨きをかける取り組み

〈個性と魅力にあふれる文化と学術の地域づくり〉

金沢城公園は、来園者のくつろぎ空間となる鶴の丸休憩館がリニューアルオープンし、鼠多門と鼠多門橋の復元整備を推進。東京国立近代美術館工芸館の移転では、基本コンセプトが発表され、実施設計に着手しました。また、工芸館名品展や重要文化財百工比照の特別展示など「いしかわの工芸文化魅力発信・向上プログラム」を展開。新たな県立図書館は、「石川の「知の殿堂」」を基本コンセプトとした基本構想を策定し、建物の基本設計に着手しました。



〈スポーツを通じた活力の創造〉

木場潟公園でニュージーランドとブラジルのカヌー選手を受け入れるなど、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた事前合宿の誘致を推進。また、今後の相互交流を図るため両国をホストタウンとして登録しました。



〈第28回全国「みどりの愛護」のつどいの開催〉

皇太子殿下をお迎えし、広く都市緑化意識を高め、緑豊かな潤いのある住みよい環境づくりの推進を目指し、「第28回全国「みどりの愛護」のつどい」を開催しました。

地域を支える活力ある産業の創出

〈戦略的な企業誘致の推進〉

○本社機能の立地促進

㈱フェローテックセラミックスの本県への研究開発拠点の集約や、ダイコウ化研(株)およびかがつ(株)の本社機能移転、ダイワ通信(株)の本社機能の増強が決定しました。



○生産拠点の強化

㈱栗田北陸製作所および㈱メタルヒートの工場の新規立地や、村田製作所グループの工場の増設が決定しました。

○企業等の新たな参入による多様な農業の担い手の確保

新たに農業参入した㈱バイテックファーム七尾の七尾工場で栽培されたリーフレタスが初めて出荷されました。



〈新たな成長市場の獲得に向けた戦略的な販路開拓〉

県内企業の販路開拓を後押しするため、東南アジアの中心地であるシンガポールでビジネス商談会を開催しました。

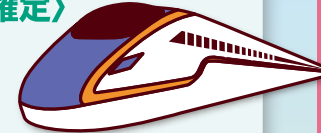
〈特色ある県産農林水産物の生産・販売体制強化とブランド化の推進〉

県が16年かけて育成したなしの新品種「加賀しずく」が市場に初出荷。また、同じく9年をかけて育成した米の新品種「ひやくまん穀」も販売を開始しました。

交流基盤の整備・活用と誘客促進

〈北陸新幹線全ルートが確定〉

京都・新大阪間のルートが南回りルートに決定し、北陸新幹線の全ルートが確定しました。



〈重点的・戦略的な魅力の発信〉

広域観光を促進するため白山開山1300年記念キャンペーンを実施。また、次代の観光産業を担う人材を育成するため「いしかわ観光創造塾」を開講しました。東北と北陸を結ぶ直通新幹線を継続運行していくため、相互の誘客促進を目的に「石川・宮城観光連携推進会議」を設置しました。

〈クルーズ・貨物両面での金沢港の拠点港化の推進〉

金沢港のクルーズ寄港数が30本(H28)から55本(H29)に増加(うち金沢港発着クルーズ41本)。クルーズの受け入れ拠点となる金沢港クルーズターミナルの建設や、アクセス道路・駐車場・緑地の整備のほか、東部工業用地へのコンテナ上屋の集約に向けた造成工事、無量寺岸壁の水深10m化工事に着手しました。



〈航空ネットワークを活用した交流の促進〉

キャセイドラゴン航空が運航する香港から小松空港へのチャーター便が就航しました。



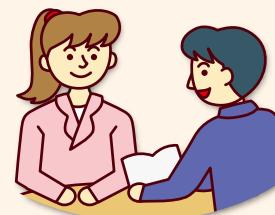
〈「ダブルラダー輝きの美知」構想の推進〉

加賀海浜産業道路、のと里山海道の4車線化、金沢外環状道路の整備など、広域幹線道路の整備を推進しました。

人口減少対策

〈人材の定着と確保・活用策〉

石川への移住を促進するため、移住の際の経済的負担軽減を図る「いしかわ移住パスポート制度(バス)」がスタート。また、企業の人材確保・活用を支援するため、いしかわ就職・定住総合サポートセンター(ILAC)内に専用窓口を設置し、県外学生のUターン就職の促進、女性や高齢者など潜在的な人材の掘り起こしに取り組めました。



〈少子化対策〉

子育て世帯の経済的負担軽減を図るため、第2子以降の放課後児童クラブ利用料や病児・病後児保育利用料の原則無料化を実施。また、プレミアム・パスポートの交付対象を子ども2人世帯に拡大しました。



平成29年の主なあゆみ(年表)

- 3月
 - 北陸新幹線 全ルートが確定(15日)
 - 日本郵便(株)北陸支社との包括連携協定の締結(22日)
 - 石川県白山における火山災害による遭難の防止に関する条例の制定(23日)・施行(7月1日)(白山登山届の提出義務化)
 - 金沢港無量寺岸壁水深10m化工事着手(25日)
 - 新たな県立図書館の基本構想を策定(27日)
 - 県内プロスポーツチームとの観光誘客に関する協定の締結(30日)
 - 防災士の育成目標数を達成(H28目標:総数4,000人(うち女性1,000人))(31日)
- 4月
 - 金沢大学医学類特別枠で養成してきた医師が能登北部地域の病院で診療に従事(1日)
 - 第2子の放課後児童クラブ利用料の原則無料化(1日)
 - 第2子以降の病児・病後児保育利用料の原則無料化(1日)
 - 白山開山1300年記念キャンペーンの実施(1日~12月31日)
 - 教員総合研修センターを開所(1日)
 - キャセイドラゴン航空小松・香港チャーター便の就航(16日~6月29日22便、9月29日~10月27日9便 計31便)
 - 金沢城公園鶴の丸休憩館のリニューアルオープン(23日)
 - 「いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭2017」を開催(28日~5月5日)
- 5月
 - いしかわ観光創造塾開講式(16日)
- 6月
 - 第28回全国「みどりの愛護」のつどいの開催(10日)
 - 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた事前合宿の誘致推進(ニュージーランド(25日~7月6日)、ブラジル(10月4日~H30年1月中旬)、フランス(10月22日~11月1日)、モザンビーク(10月28日~11月16日))
 - いしかわ移住パスポート制度(バス)スタート(29日)
- 7月
 - ホストタウン登録(ニュージーランド(7日)、ブラジル(12月11日))
 - シンガポールでの商談会(20日)
- 8月
 - なし新品種「加賀しずく」の市場初出荷(25日)
 - 弾道ミサイルを想定した住民避難訓練の実施(30日)
 - 東京国立近代美術館工芸館移転に係る基本コンセプトの公表(31日)
- 9月
 - 白山山頂における携帯電話3社通信可能(9日)
- 10月
 - パープルサポートいしかわ(いしかわ性暴力被害者支援センター)を開設(2日)
 - 米新品種「ひやくまん穀」の販売開始(5日)
 - プレミアム・パスポート事業の対象を第2子世帯に拡大(15日)
- 11月
 - 県央土木総合事務所等の新庁舎起工式(11日)
 - 新県立中央病院の完成記念式典(23日)、一般公開(26日)、移転作業開始(12月29日~)
- 12月
 - 石川・宮城観光連携推進会議の設置(19日)